

令和5年度第1回 監査機関同士の意見交換 概要

1 開催日時

令和5年12月7日（木）11時30分～11時50分

2 場所

事業団 日本パーティビル 地下1階 共用会議室

3 出席者

- ・監事 中山 正雄、飯塚 幸子
- ・EY 新日本有限責任監査法人 業務執行社員 小野寺 勝 ほか
- ・デフリンピック準備運営本部監査室 塩田 孝一 ほか

4 概要

監査室から「内部監査の実施及び三様監査体制の構築」及び「令和5年度監査計画」について説明し、三者で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・ 内部監査の監査範囲について、デフリンピックの特有のテーマ等が対象になっており、監査内容としては適切である。
- ・ 組織の始動期においては、規程等は整備されたが、運用が追いつかない事例がよくあるので留意されたい。
- ・ 職員によって、デフリンピック業務の知識・経験が異なると思われる。職員が短期間で知識を身につけられるような環境整備が重要である。
- ・ 職員が増えてくると、内部統制が大事になる。組織として統一した気持ちになれるよう、研修等を定期的に行ってほしい。
- ・ デフリンピック開催までどのように準備を進めていくかスケジュールを共有してもらい、スケジュールを確認しながら、監査を行っていきたい。

意見交換の結果、

- ・ 意見を踏まえて、各監査において気づきや懸念点等があれば共有する。
- ・ 8月の体制拡大に合わせて制度や規程等を整備している。実際に適切な運用ができているか、監査室で確認し、結果を共有する。
- ・ 次回の意見交換は2～3月に実施予定などを申し合わせた。